

NPO 法人京阪総合カウンセリング 事務局だより

2024年7月

2024年度の総会のご報告

会員の皆様、今年も総会にご協力ご参加いただき、本当にありがとうございました。今年で23年目の活動に入りますが、今年度も会員の皆様の『心の拠り所』として存在していけるように努力を重ねてまいりたいと思っています。また、臨床心理学の普及にむけて心理学の研究も深め、日常生活の心理的問題の軽減や予防、病理の改善にむけて地域の皆様に貢献してまいります。



毎年、総会においては講演会を開催してきました。講演会においては基本的に大学の教授や精神科医、カウンセリング関係で活躍しておられる方々を中心に教示いただき、臨床心理学をより深く理解していく機会をもうけてきましたが、今年度は講演していただきたい講師との日程調整が難しく、色々と検討協議してきました。結論として微力ながら私が講義させていただくことになりました。

当会の会員の皆様にとってお役に立つことを第一の課題として考慮させていただきました結果「ミドルエイジ・クライシスを自己実現に向けて舵を切る」と題して講義をさせていただきました。

『危機は、成熟に向けた原動力となる』という理論を、臨床の実践において実感させられてきました。私個人のこれまでの経験を振り返ってみても、ま

さにこの経験の中を歩んできたことを実感しております。ミドルエイジ・クライシスについても、カールGユングをはじめ多くの臨床心理学者が理論的に説明、教示しているところでは

ミドルエイジに限らず人間の生涯においては多くの危機を経験させられることになるのですが、危機は人生の破滅に向けてあるのではなく、人生の成熟（成長）に向けての課題でもあることを心において生涯を全うしていきたいと思います。しかし、その真ただ中にあるときは、他者の応援が必要なときがしばしばあります。



私たちNPO法人京阪総合カウンセリングは、そのような状況において社会資源の一翼を担っていきたく願っております。

『支援することは、支援される環境づくり』ということになります。これからも、30年、40年、50年と活動を継続し、少しでも安心して暮らしていける環境づくりを目指して小さな努力を積み重ね、会員の皆様とともに歩み続けてまいりたいとおもいます。

アンケートによる、暖かいメッセージや応援のお言葉を沢山いただき、心から感謝申し上げます。ますます頑張ってまいりますので、今後も「ご支援、ご協力」を宜しくお願い申し上げます。

お知らせですが、7月31日（水）午後2時から、立正大学カウンセリングルーム主任の住沢佳子先生をお迎えしてカウンセリングの実践における課題などを実体験からお話をいただきます。

総会講演会を補う意味もふくめて企画しましたので、是非、会員の皆様、ご参加いただければと思っております。